

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	総合的な学習の時間の指導				
担当者氏名	高木 浩志				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	3年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門基礎-1 国際社会に貢献できる人材育成 ○ 専門基礎-2 豊かな人間性の醸成 ○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 専門基礎-4 発達の深い理解 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性 				

《授業の概要》

- ①具体的な授業記録や資料の分析及びそれに基づく協議を通して、構成要素及び授業の計画・実施・評価の方法を体験的に学ぶ。
- ②具体的な授業事例や関連資料についての各自の主観的な意見や感想及びそれに基づく協議を重視する。また、授業分析等ではワークショップ型の活動を多く取り入れる。受講生の活発な発言や協議をおこなう。

《授業の到達目標》

- ①探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を通して、課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。
- ②各教科で育まれる見方・考え方を総合的に活用、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、社会や生活の課題を探究する学びの実現のため、指導計画及び具体的な指導の仕方、学習の評価に関する知識・技能を身に付ける。

《成績評価の方法》

授業中でのレポート課題や発表等50%
定期テスト50%

《テキスト》

『総合的な学習の時間』ミネルヴァ書房

《参考図書》

『小学校指導法 総合的学習』玉川大学出版部、
『最新総合的な学習（探求）の時間』大学教育出版、
文部科学省「小・中学校学習指導要領」「小・中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編」他、
授業内容にあわせ、適宜紹介する。

《授業時間外学習》

レポートや提出物により授業での予習・復習とする。
ポートフォリオを活用した意見交換を行う。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は小・中学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	講義の概要と視点
2	総合的な学習の時間とは	「総合的な学習の時間」の背景と実践の現状把握
3	ねらいと意義	「総合的な学習の時間」のねらいと意義（教育課程において果たす役割と教科を超えて必要な資質・能力の育成の視点から）
4	授業実践	「総合的な学習の時間」のテーマ設定と各教科・他領域との関連（実践事例の収集と分析）
5	授業実践事例	実践研究の発表と評価—グループごとの発表をもとに—
6	課題①	国際理解教育について—異文化をどう教えるか—
7	指導案作成①	学習指導案の作成①
8	模擬授業①	作成した学習指導案を使用して模擬授業を行い、検討する。
9	課題②	環境問題について—身近な環境問題にはどのようなものがあるか—
10	指導案の作成②	学習指導案の作成②
11	模擬授業②	作成した学習指導案を使用して模擬授業を行い、検討する。
12	課題③	地域学習について—身近な地域学習にはどのようなものに取り組みばよいか—
13	指導案の作成③	学習指導案の作成③
14	模擬授業③	作成した学習指導案を使用して模擬授業を行い、検討する。
15	まとめ	「総合的な学習の時間」における年間指導計画と単元計画の策定について（「総合的な学習の時間」の意義と役割の再確認）